

## 「ほたるを守る会」

ほたるを守る会は、平成6年に発足し、ホタルの知識を深めてもらおうと町内の小学校で授業を行ったり、ホタルの繁殖を助けるために、草を刈らないようお願いする啓発看板を設置するなど、ホタルを通じて一人ひとりが自然への理解を深めてもらう活動を行っています。また、パトロールを行い、ホタルの活動やホタルのえさであるカワニナの生息状況など、実態を把握し、ホタルの数がえるような取り組みを行い、ホタルの住みやすい環境を守り続けています。

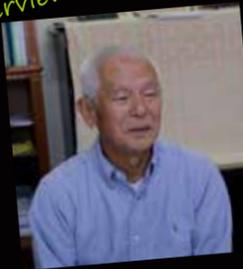


看板を設置する様子



ホタル出前授業

interview



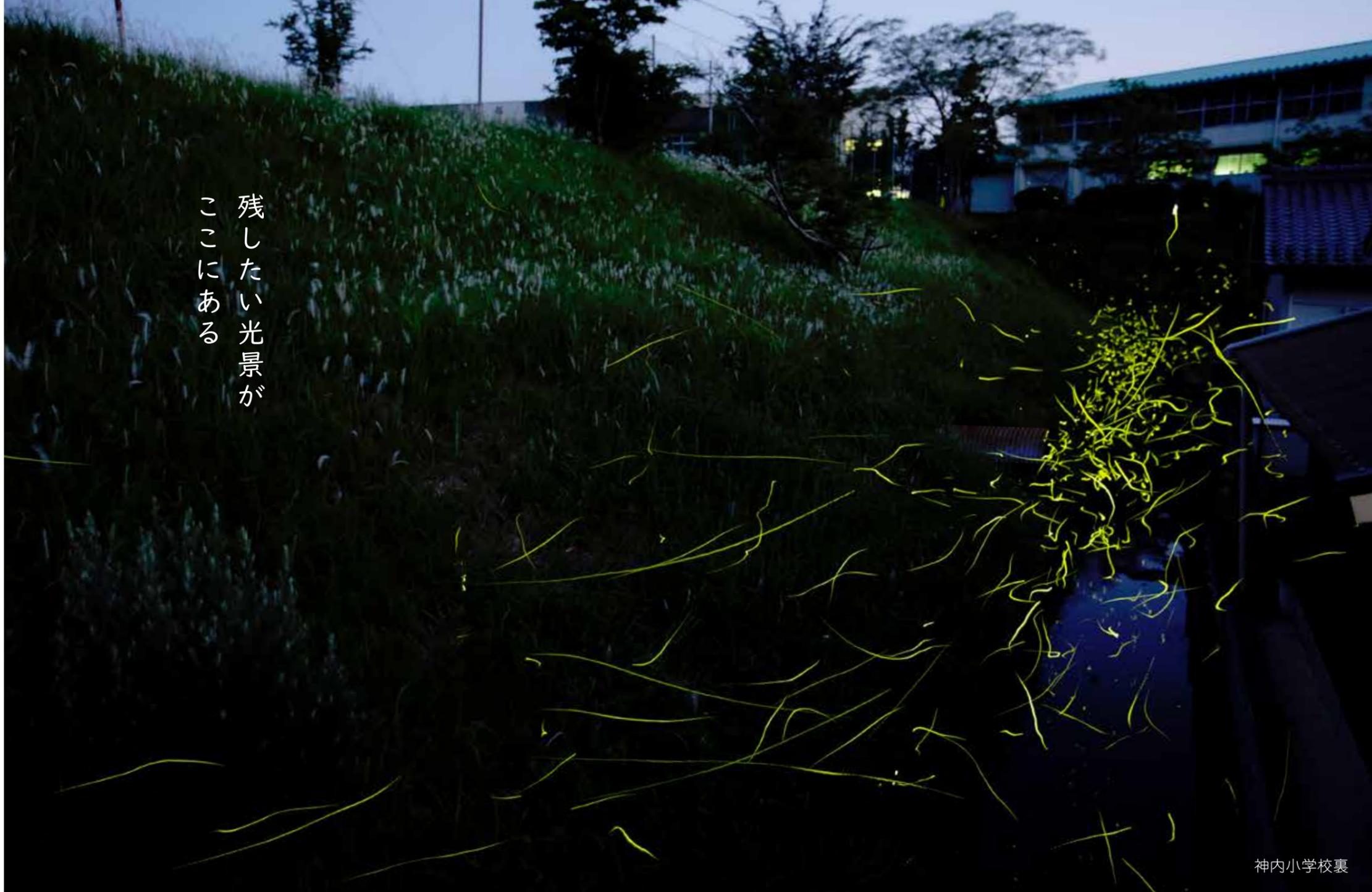
ほたるを守る会  
会長 蔵本 一範さん

「ホタルを通じて  
環境に興味を持ってもらえれば」

紀伊半島大水害後、ホタルはいなくなっ  
てはいませんが、増えてこない状況です。  
見ているだけではホタルは増えないので、  
カワニナを生息地に放流するなどの活動を  
続けています。

ホタルが飛び交うすばらしい光景を後世  
に受け継ぎたいとの想いで、町内の小学校  
で出前授業などを30年近く続けており、  
子どもたちにホタルを大切にしようという  
メッセージは伝わっていると思います。また、  
ホタルをきっかけにそのほかの生き物  
や環境のことなど、いろんなことに興味を  
持ち、私たちの想いを受け継いで、すばら  
しい町を守ってほしいですね。

残したい光景が  
ここに  
ある



神内小学校裏

動に取り組みされている方々  
がいます。  
ホタルは環境のパロメ  
ータとも言われており、ホ  
タルが生育する環境を維持す  
ることが、私たち人間を含  
めた生き物にとってもやさ  
しい環境を維持することに  
つながります。  
ホタルの鑑賞を通じ、人間  
と自然とのつながりについて  
考えてみませんか。

今回の特集では、町内でホ  
タルを見ることが出来る場所  
の紹介や鑑賞する際の注意  
などを紹介します。  
また、町内にはホタルの  
飛び交う光景を後世に受け  
継いでいきたいという想い  
から、夜間のパトロールや  
次世代を担う子どもたちへ  
の啓発活動などホタルの生  
育環境を維持するための活

初

夏の訪れを告げるよ  
うに、夜の川べりで光  
を灯しながら飛び交うホタル  
は、昔から人びとの心をとら  
えてきました。

一般的にホタルのシーズン  
と云えば6月をイメージされ  
るかもしれませんが、町では  
5月中旬から各地でホタルが  
飛び始めます。



ゲンジホタル